

明治大学教育会講演会

日時：2016年11月19日（土）15：00～16：00

会場：明治大学駿河台キャンパス リバティホール

（第9回教育会総会講演会として開催します）

テーマ： 老耄の意味を考える

講師：大井 玄 先生 東京大学名誉教授

1963年東京大学医学部卒業，内科医として出発したが，その後社会医学に転じ，1971年から1976年に至るまで東京都立衛生研究所副参事研究員として，ドバトなどの生物指標を用いた鉛による環境汚染を調べた。

1976年より78年までハーバード大学公衆衛生大学院修了後，帝京大学医学部公衆衛生学教授として，日本におけるエイズの流行予測を行い，国際保健にかかわった。

さらに長野県佐久市，東京都杉並区，沖縄県名護市において認知症高齢者の周辺症状と人間関係などの環境条件とのかかわりを調べ，老人医療に従事した。その後東京大学大学院国際保健専攻教授を経たのち，国立環境研究所所長を務めた。

現在は都立松沢病院精神科非常勤医師の傍ら在宅医療，看取りの医療にかかわっている。『環境世界と自己の系譜』，『痴呆老人は何を見ているのか』，『病から詩が生まれる』など多数の著書がある。